

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和2年12月24日(2020.12.24)

【公開番号】特開2019-95504(P2019-95504A)

【公開日】令和1年6月20日(2019.6.20)

【年通号数】公開・登録公報2019-023

【出願番号】特願2017-222649(P2017-222649)

【国際特許分類】

G 09 G 3/3233 (2016.01)

G 09 G 3/3291 (2016.01)

G 09 G 3/20 (2006.01)

H 01 L 51/50 (2006.01)

H 01 L 27/32 (2006.01)

【F I】

G 09 G 3/3233

G 09 G 3/3291

G 09 G 3/20 6 4 2 A

G 09 G 3/20 6 3 1 V

G 09 G 3/20 6 4 1 P

G 09 G 3/20 6 2 3 R

H 05 B 33/14 A

H 01 L 27/32

【手続補正書】

【提出日】令和2年11月16日(2020.11.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第一のDBVと第一の階調値に対応する輝度を出力する第二のDBVにおける第二の階調値を算出するルックアップテーブルと、

前記第二の階調値と前記第二のDBVにおけるムラ補正データとに基づき、ムラ補正量を算出する補正量演算回路と、

前記ムラ補正量を用いて、入力画像データのムラ補正を行うムラ補正回路と、
を備え、

前記第一のDBVは前記第二のDBVと異なる

表示ドライバ。

【請求項2】

前記ムラ補正データを記憶するメモリを備え、

前記補正量演算回路は、前記メモリから前記ムラ補正データを読み出し、前記第二の階調値に応じた前記ムラ補正量を算出する請求項1に記載の表示ドライバ。

【請求項3】

前記ルックアップテーブルは、入力される前記第一のDBVを、所定の係数に変換し、
前記所定の係数は、前記ムラ補正データを、前記第二の階調値に対応するムラ補正量に
変換する係数であり、

前記補正量演算回路は、前記所定の係数と前記ムラ補正データとに基づき、前記ムラ補

正量を算出する請求項 1 又は 2 に記載の表示ドライバ。

【請求項 4】

前記ルックアップテーブルは、

複数の DBV のそれぞれに対応づけて変換係数を記憶するレジスタと、

前記第一の DBV が入力されたとき、前記複数の DBV 及び前記変換係数に基づき線形補間処理を行い、前記第一の DBV に対応する変換係数を算出する演算回路と、

を備える請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の表示ドライバ。

【請求項 5】

前記ルックアップテーブルには、前記変換係数の下限値が設けられ、

所定の DBV 以下の前記第一の DBV が前記ルックアップテーブルに入力されるとき、前記下限値に変換される請求項 4 に記載の表示ドライバ。

【請求項 6】

前記第二の DBV は、最大 DBV である請求項 1 乃至 5 のいずれか一項に記載の表示ドライバ。

【請求項 7】

前記第一の DBV は、外部から入力される DBV に対応する請求項 1 乃至 6 のいずれか一項に記載の表示ドライバ。

【請求項 8】

表示パネルと、

第一の DBV と第一の階調値とに対応する輝度を出力する第二の DBV における第二の階調値を算出するルックアップテーブルと、

前記第二の階調値と前記第二の DBV におけるムラ補正データとに基づき、ムラ補正量を算出する補正量演算回路と、

前記ムラ補正量を用いて、入力画像データのムラ補正を行うムラ補正回路と、

を備え、

前記第一の DBV は前記第二の DBV と異なる

表示装置。

【請求項 9】

前記ムラ補正データを記憶するメモリを備え、

前記補正量演算回路は、前記メモリから前記ムラ補正データを読み出し、前記第二の階調値に応じた前記ムラ補正量を算出する請求項 8 に記載の表示装置。

【請求項 10】

前記ルックアップテーブルは、入力される前記第一の DBV を、所定の係数に変換し、

前記所定の係数は、前記ムラ補正データを、前記第二の階調値に対応するムラ補正量に変換する係数であり、

前記補正量演算回路は、前記所定の係数と前記ムラ補正データとに基づき、前記ムラ補正量を算出する請求項 8 又は 9 に記載の表示装置。

【請求項 11】

前記ルックアップテーブルは、

複数の DBV のそれぞれに対応づけて変換係数を記憶するレジスタと、

前記第一の DBV が入力されたとき、前記複数の DBV 及び前記変換係数に基づき線形補間処理を行い、前記第一の DBV に対応する変換係数を算出する演算回路と、を備える請求項 8 乃至 10 のいずれか一項に記載の表示装置。

【請求項 12】

前記ルックアップテーブルには、前記変換係数の下限値が設けられ、

所定の DBV 以下の前記第一の DBV が前記ルックアップテーブルに入力されるとき、前記下限値に変換される請求項 11 に記載の表示装置。

【請求項 13】

前記第二の DBV は、最大 DBV である請求項 8 乃至 12 のいずれか一項に記載の表示装置。

【請求項 1 4】

前記第一のDBVは、外部から入力されるDBVに対応する請求項8乃至13のいずれか一項に記載の表示装置。

【請求項 1 5】

第一のDBVと第一の階調値とに対応する輝度を出力する第二のDBVにおける第二の階調値を算出し、

前記第二の階調値と前記第二のDBVにおける表示パネルの表示ムラの補正に用いられるムラ補正データとに基づき、ムラ補正量を算出し、

前記第一のDBVは前記第二のDBVと異なる

ムラ補正方法。

【請求項 1 6】

前記ムラ補正データをメモリに記憶し、

前記メモリから読み出された前記ムラ補正データを用いて、前記第二の階調値に応じた前記ムラ補正量が算出される請求項15に記載のムラ補正方法。

【請求項 1 7】

ルックアップテーブルに入力された前記第一のDBVを、変換係数に変換し、

前記変換係数は、前記ムラ補正データを、前記第二の階調値に対応するムラ補正量に変換する係数であり、

前記変換係数と前記ムラ補正データとが演算処理され、前記ムラ補正量が算出される請求項15又は16に記載のムラ補正方法。

【請求項 1 8】

複数のDBVのそれぞれに対応づけて変換係数を記憶し、

前記第一のDBVが入力されたとき、前記複数のDBV及び前記変換係数に基づき線形補間処理を行い、前記第一のDBVに対応する変換係数を算出する請求項17に記載のムラ補正方法。

【請求項 1 9】

前記ルックアップテーブルには、前記変換係数の下限値が設けられ、

所定のDBV以下の前記第一のDBVが前記ルックアップテーブルに入力されるとき、前記下限値に変換される請求項17又は18に記載のムラ補正方法。

【請求項 2 0】

前記第二のDBVは、最大DBVである請求項15乃至19のいずれか一項に記載のムラ補正方法。